

令和6年度第1回水戸市こころのバリアフリー部会
意見及び対応案（その2）

市民啓発用パンフレットの作成について

No	意見等の概要	対応案
1	一般市民向けのほか、学校向けや企業向けなど、ニーズや用途ごとに複数種類のパンフレットがあったほうがよい	一定の理解が進んだ後、ニーズや用途に合わせたパンフレットの作成を部会の中で検討していく
2	ただ配られたパンフレットでは読まない人もいるので、広報を活用して、定期的に情報発信するの もよいのではないか	
3	イラストがたくさんあるパンフレットがあると 伝えやすいのではないか	
4	いきなりパンフレットを作成するのではなく、一定の普及が進んだ後、作成してもよいのではないか	
5	水戸市で行っている交通バリアフリー教室などの状況を、参加することもたちの写真を使って広報に掲載してはどうか	まずは、広報やSNS、啓発用グッズなどを活用した周知・啓発を進め、一定の理解促進を目指していく
6	子どもたちへの周知は、詳しい内容よりも、まずは「こころのバリアフリー」というフレーズを伝えるだけでも効果があるのではないか	
7	啓発用グッズ（シールや反射板など）やSNSを活用した周知・啓発も効果的ではないか	
8	一定のテンプレートを使った周知・啓発を行うことで、高い水準のことが伝えられるのではないか	